Komaba Tuition Centre
KOMABA

中学１年生

国語

4 月 24 日

授業で使用するもの

筆記用具・このプリント(またはノートか裏紙)・Sirius

名前＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

セカイのことをかんがえる KOMABA DAY

第９号　2020/4/21

「KOMABA DAY」は月に一度実施している日で、世界で起こっている様々な問題に子どもたちが触れる機会を作っています。また、同日は募金箱も設置します。集まった募金は災害などの緊急支援や KOMABA の開校以来、その活動を応援し続けているトータルペインター・ミヤザキケンスケさんのプロジェクト OVET THE WALL に役立てられます。なお楽しみながらの活動を目指しているため、「KOMABA DAY」では講師は私服で授業をし、生徒は授業中の飲食を可としています。

思いあい、助け合うこと

手作りマスクを県に寄付した少女　今度は大学医学部に寄付【2020 年 4 月 21 日】

3 月に約 600 枚もの手作りのマスクを山梨県に寄付して感謝された、中学 2 年生の滝本妃（13）さん。今度は、山梨大学の医学部に手作りマスク約 250 枚を届けた。



作ったマスクを寄付する滝本さん

山梨大学の付属校に通う滝本さんは、県に手作りマスクを寄付したのがきっかけで学長賞を授与された。その際に、医療現場でマスク不足が起きていることを知ったという。医療現場でも使えるよう、抗ウイルス加工を施したコットンを間に入れて縫っていた。これまでに約 900 枚を手作りして、寄付してきた滝本さん。反響が多い一方で批判的な声もあったことから、縫うのをやめていた時期もあったという。そんな時支えになったのは、マスクを受け取った人からの手紙だった。たくさんのメッセージに支えられ、再びマスク作りに取り掛かった滝本さん。そして今回の寄付になった



中国から那覇市へ善意で届けられたマスク

大変な状況にある人の力になりたい、大変な時だからこそ誰かを応援したい。そう思い行動することが、実際に誰かの力になることもあります。2011 年の東日本大震災の時には、国内のみならず国際的な援助がたくさん報告されました。今回のコロナの件でも海外からのマスクの援助は多数報告されています。なぜ助け合いたいと思うのでしょうか。その根本には「感謝」という気持ちがあるのではないでしょうか。今回の件で、普段私たちが何気なく暮らしている「日常」は、人々の頑張りが積み重なってこそ出来上がっているということがよく分かりました。普通だと思っていた日常はありがたいことで、感謝すべきことだったのかもしれません。では、どんなことに感謝できるでしょうか。そして、そのお礼に私たちはなにが出来るでしょうか。良かったら、自分の身の周りで考えてみてください。自分の感謝で誰かを助けることができるかもしれません。（谷口）

中学生漢字テスト

⑳ ⑲ ⑱ ⑰ ⑯ ◆◇◆次の漢字を使って文を作りなさい。 ⑮ ⑭ ⑬ ⑫ ⑪ ⑩ ⑨ ⑧ ⑦ ⑥ ⑤ ④ ③ ② ①

講師が授業中に指示します。
解答は別のノートなどに書き込んでも構いません。

⑮	⑭	⑬	⑫	⑪	⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①

●内容を簡潔にまとめる

ニュースの内容を簡潔（かんけつ）にまとめましょう。

メモ

～重要だと思った部分～

下書きの内容をもとに八〇字以内で要約しましょう。

6 ことば編 ⑥

読解力アップに役立つことば 2

学習日　月　日

いろいろな文章を読むと『副詞』ということばが、効果的に使われているのがわかります。副詞は、場面や人物の様子などを生き生きと表すはたらきをします。ここでは副詞を中心に学びましょう。

□ **あえて**……①わざわざ。②とくに。
□ **ありありと**……目で見るようにはっきりと。
□ **あわよくば**……うまくいったら。
□ **いたずらに**……むだに。意味もなく。
□ **おずおずと**……おそるおそる。
□ **おのずから**……しぜんに。ひとりでに。
□ **ごく**……きわめて。もっとも。
□ **しきりに**……何度も。むやみに。たえず。
□ **しばしば**……たびたび。何度も。
□ **しばらく**……少しの間。ひさしぶり。
□ **ただ**……それだけであって他に何もない様子。

例題❶ 次の□にあてはまることばを、右から選んで書きなさい。

(1) 立ち止まっていても、□時が過ぎるだけだ。
(2) 彼女の笑顔が□目にうかぶ。
(3) 姉は犬が苦手だったが、□手を差し出した。
(4) この試合は□勝てるかもしれない。

例題❷ 次の□にあてはまることばを、右から選んで書きなさい。

(1) ハチ公は□、飼い主に会いたかっただけである。
(2) 運動会ができるかどうか、□様子をみましょう。
(3) プロサッカー選手になれるのは□少数である。

□ **たちまち**……にわか。すぐ。あっという間。
□ **つくづく**……念を入れて。念入りに。深く感ずるさま。
□ **非常(ひじょう)に**……はなはだしく。たいそう。
□ **ふと**……急に思いついて。
□ **ようやく**……しばらくたって。ゆっくりと。

例題❸ 次の□にあてはまることばを、右から選んで書きなさい。

(1) あゆみは□空を見上げ、雨が降りそうだと感じた。
(2) 何時間も降り続いた雨が□あがった。
(3) 新発売のゲームは□売り切れてしまった。

【言いまわしが決まっていることば】

次に並んでいるのは、決まった言い方をすることばです。これを呼応(陳述)の副詞といいます。

□ もし～なら	□ たとえ～でも	□ まるで～(よう)だ	
□ 全く～ない	□ けっして～ない	□ ほとんど～ない	
□ めったに～ない	□ よもや～まい	□ おそらく～だろう	

〈例〉ぼく達は練習をしてきた。よもや負けるようなことはあるまい。

例題④ 次の□にあてはまることばを、右から選んで書きなさい。

(1) □熱が下がっても、寝ていないといけません。

(2) その人形は□中国で作られたのだろう。

(3) 私は、□その友だちのことを忘れない。

(4) 空には雲ひとつない。□明日天気がくずれることはあるまい。

(5) つぼの中は空っぽで□塩が残っていなかった。

(6) □私が医者なら、大勢の人を助けられたのに。

ことばのしくみ

いろいろなことばについて、ここで詳しくまとめておきます。

1. **名詞**…物や人の名前、ことがらなどを表すことば。
   ①**普通名詞** 一般的なものの名前。【例】地球、アイスクリーム、犬、愛
   ②**固有名詞** 人名や地名など特別なものの名前。【例】徳川家康　北海道
   ③**数詞** 数や量、順番を表す。【例】四番、三本、第一
2. **代名詞**…人、もの、場所などを表すとき、名詞の代わりに使うことば。
   ①**人称代名詞** 人を指し示す。【例】私、あなた、彼
   ②**指示代名詞** ものや場所、方角を指し示す。【例】これ、ここ、こっち
3. **動詞**…人やものごとの動きなどを表すことば。言い切ると五十音のウ段になる。次に来ることばの続き方で、形が変わることを『活用』という。【例】起きる、飛ぶ、立つ、食べる、読む、書く、寝る　【活用】遊ば(ない)、遊び(ます)、遊ぶ、遊べ(ば)、遊ぼ(う)
4. **形容詞**…ものごとの様子や性質、状態を表すことば。言い切ると「い」の形で終わる。【例】美しい、白い、高い　【活用】赤かろ(う)、赤かっ(た)、赤く(なる)、赤い、赤い(こと)、赤けれ(ば)
5. **形容動詞**…ものごとの様子や性質、状態を表すことば。言い切ると「だ・である」の形で終わる。【例】静かだ、きれいだ　【活用】すなおだろ(う)、すなおだっ(た)、すなおで(ある)、すなおに(なる)、すなおだ、すなおな(ひと)、すなおなら(ば)
6. **副詞**…動詞や形容詞、形容動詞のなどの前について、状態や程度などをくわしく表すことば。【例】雨がざあざあ降っている。
7. **連体詞**…名詞や代名詞の前について、くわしく説明することば。【例】この人
8. **接続詞**…文と文をつなぐ役割をすることば。【例】学校へ行った。しかし、校門は閉まっていた。
9. **感動詞**…心の動きや、呼びかけなど表すことば。【例】もしもし。やあ。

◆このほかに、いろいろなことばにくっついて使われる「**助詞**」「**助動詞**」ということばもあります。

練習問題

1

次の□にあてはまることばを、後の語群から選び書きなさい。

(1) 大勢の前で名前を呼ばれ、その少女は［　　］と前へ進み出た。

(2) ただいま［　　］こみ合っております。

(3) 東京ディズニーランドへは、これまで［　　］行ったことがない。

(4) 複雑な迷路を抜け出したのは、［　　］一人だけだった。

(5) ［　　］明日晴れたなら、公園に行こう。

(6) ぼくは［　　］父とジョギングをする。

(7) こんなに雨が降っているんだ。［　　］だれも来はしまい。

(8) 痛めた手が気になるのか、［　　］右手をおさえていた。

(9) この足跡(あしあと)は、［　　］オオカミのものだろう。

(10) 雪に太陽の光があたってきらきら光る。［　　］宝石のようだ。

(11) ラーメン屋の行列は［　　］長くなってしまった。

(12) 手紙をもらった母の喜ぶ顔が［　　］目に浮かぶ。

全く　しきりに　まるで　非常に　ありありと　たちまち
ただ　しばしば　おそらく　よもや　おずおずと　もし

2

次の――の意味を、後のア～コから選び、記号で書きなさい。

(1) 君はつくづくお人好しだね。［　　］

(2) みんなの前であえて目立つ必要はないじゃないか。［　　］

(3) 久美の手には、ごく小さな貝がらがにぎられていた。［　　］

(4) あわよくば次の舞台で、主役になれそうだ。［　　］

(5) みんなおのずから助けの手を差しのべた。［　　］

(6) あなたは、いたずらに誤解を招くことをしています。［　　］

(7) ケンはしばらく見ないうちに背がのびていた［　　］

(8) ウサギはおずおずとえさに近寄ってきた。［　　］

(9) 十年後の自分がどうなっているかふと考えた。［　　］

(10) 長い行列はようやく動き始めた。［　　］

ア きわめて　イ わざわざ　ウ うまくいったら
エ 急に思いついて　オ 意味もなく　カ しばらくたって
キ ひさしぶり　ク しぜんに　ケ おそるおそる
コ 深く感ずるさま

⑤ ことば編 ⑤

P18
例題❶ (1) 原因 (2) 軽視 (3) メジャー
例題❷ (1) 結論 (2) 概して (3) 確固

■解説■
(1) 環境問題について自分の意見をまとめた、という内容である。よって「結論」がふさわしい。

P19
例題❸ (1) 考察 (2) 相互 (3) 対極
例題❹ (1) つじつま (2) 対象
例題❺ (1) 背景 (2) 把握 (3) 本来
例題❻ (1) ポジティブ (2) キャンペーン (3) ニュアンス

P20
◇練習問題◇

1 (1) 根拠 (2) 対象 (3) 結論 (4) 把握 (5) 軽視 (6) 展開 (7) 確固 (8) 漠然 (9) 独自 (10) 考察 (11) 不可欠 (12) 相応

2 (1) エ (2) ケ (3) ア (4) ① イ ② ク (5) オ (6) カ (7) ウ (8) キ

P21
◆応用問題◆

1 (1) エ (2) イ (3) ウ (4) イ (5) エ (6) エ (7) イ (8) ア

■解説■
(1) 「物語の裏にある事がらを調べる」という意味である。
(2) 「ある性質がそれだけに存在する」という意味である。
(3) 「プリンはあまいことがあたりまえである」という意味である。
(4) 「判断のよりどころ」という意味である。
(5) 「よく理解できていない」という意味である。
(6) 「年齢にあった服装をしなさい」という意味である。
(8) この場合、「一つの態度や方法などを始めから終わりまで通すこと」という意味で使われている。よってアが正解。

2
〈解答例〉
(1) ・漠然とした説明なので、きっとつじつまがあわなくなるよ。
・彼は、予想外の展開に、つじつまをあわせようと必死だ。
(2) ・原因と結果は、相互に深く結びついている。そこで、「寝坊したので遅刻した」という一文について考察してみよう。
・メジャーな音楽は、対象が幅広く、売上を重視している。一方、マイナーな音楽は、作り手のニュアンスを大切にしている。

⑥ ことば編 ⑥

P22
例題❶ (1) いたずらに (2) ありありと (3) おずおずと (4) あわよくば
例題❷ (1) ただ (2) しばらく (3) ごく
例題❸ (1) ふと (2) ようやく (3) たちまち
例題❹ (1) たとえ (2) おそらく (3) けっして (4) よもや (5) 全く (6) もし

■解説■
(5)「つぼの中は空っぽ」とある。まるで残っていないことがわかるので、「全く」がふさわしい。

P24

◇練習問題◇

1 (1) おずおずと (2) 非常に (3) 全く (4) ただ (5) もし (6) しばしば (7) よもや (8) しきりに (9) おそらく (10) まるで (11) たちまち (12) ありありと

2 (1) コ (2) イ (3) ア (4) ウ (5) ク (6) オ (7) キ (8) ケ (9) エ (10) カ

P25

◆応用問題◆

1 (1) イ (2) エ (3) ウ (4) ア (5) ウ (6) イ (7) エ

■解説■
(7)「非常に」は「大変」という意味である。よって工が正解。

2 (1) 妹はめったに手伝わない。
(2) 彼は剣道の経験がほとんどない。
(3) たとえ時間に間に合わなくても行く。
(4) 彼はけっして約束を破らない。
(5) まるで空に赤い絵の具をぬったようだ。

■解説■
(1)「めったに～ない」を使う。文末は否定形になる。「めったに妹は～」の順番も可。
(2)「ほとんど～ない」を使う。文末は否定形になる。「ほとんど彼は～」、「彼はほとんど～」の順番も可。
(3)「たとえ～でも」を使う。「どんなことがあっても」という内容になる。「時間にたとえ～」の順番も可。
(4)「けっして～ない」を使う。文末は否定形になる。「けっして彼は～」、「約束をけっして～」の順番も可。
(5)「まるで～ようだ」を使う。たとえの表現になる。「空にまるで～」の順番も可。

3 〈解答例〉
(1)・もし私が魔法を使えるなら、空を飛びたいと思う。
・もしタイムマシンがあったら、ぼくは未来に行く。
(2)・雲の様子からすると、おそらく明日は雨だろう。
・今年の夏休みは、おそらくいそがしくなるだろう。

7 慣用句編 ①

P26

例題❶ (1) 油を売る (2) うのみにする (3) 青菜に塩

例題❷ (1) 片棒をかつぐ (2) しり馬に乗る (3) 二の句がつげない (4) 立て板に水

P27

例題❸ (1) 水を差す (2) ばつが悪い (3) 水に流す (4) 足もとを見る (5) 足を引っ張る

例題❹ (1) 鼻であしらう (2) 鼻を明かす (3) 一目置く (4) 目を細くする

◆◆◆学習内容◆◆◆

中学１年生　国語	
学習内容	漢字テスト、Sirius
宿題	①このプリントの残りすべて（丸付け＆直しまで！） ②Sirius(授業内で伝えます)

ご家庭への通信欄

塾への通信欄

Komaba Tuition Centre
KOMABA